

令和元年度
第1回みと好文カレッジ運営審議会

日 時 令和元年7月30日(火)
午後2時00分～
場 所 水戸市役所5階 会議室502

みと好文カレッジ

次 第

1 開会

2 運営審議会委員委嘱状交付

3 あいさつ

4 議題

- (1) 平成 31 年度（令和元年度）みと好文カレッジ運営方針及び主要施策について
- (2) 平成 31 年度（令和元年度）みと好文カレッジ事業実施計画について
- (3) 平成 31 年度（令和元年度）水戸市市民センター運営方針及び重点目標について
- (4) その他

5 閉会

(1) 平成 31 年度（令和元年度）みと好文カレッジ運営方針及び主要施策 について

1 運営方針

生涯学習都市宣言を踏まえ、水戸市生涯学習推進基本計画（第 4 次）に基づく施策を推進するため、全市的な生涯学習の総称である「みと弘道館大学」を開催する等、少子高齢化、高度情報化、地域社会における連帯感の欠如や家庭の教育力の低下等の現代的課題を解決するための学習機会を提供するとともに、学んだ成果が地域活動やまちづくりにつながるよう人材を育成する。

また、多様化、高度化する市民のニーズに応えるため、市民センターとの連携を強化し、時代の新たな課題に対応した企画や学習プログラムの開発を進める。

さらに、市民の生涯学習活動の振興を図るために、社会教育活動について、基礎的なことからより専門的・実践的な知識や技術について、市民センター職員の力量を高める研修の機会を充実させ、地域と連携した現代的課題に対する事業に取り組めるよう、支援・指導を強化する。

2 主要施策

(1) 市民センターへの支援・指導

ア 東湖塾の開催

市民センター職員に、生涯学習の基礎となる社会教育の知識を深める研修や家庭教育の支援の強化など、専門的・実践的な知識、技術を身につけ、職員の力量を高めるための研修会等を開催する。

さらに、現代的課題解決に向けた学習プログラムの研究・開発を行うとともに、多様化、高度化する市民のニーズに応え、時代にあった新しい講座を企画し、先進的な市民センター講座として提案する。

- (ア) 新任職員研修（集合研修，訪問研修）
- (イ) 全体研修（集合研修，ブロック研修，訪問研修）
- (ウ) 学習プログラム作成研修（ブロック研修，訪問研修）

イ 好文塾の開催

東湖塾の学習プログラム作成研修等において研究・開発された現代的課題を取り扱った企画講座が、市民センター事業として根付くよう「好文塾」と名づけ、市民センターとみと好文カレッジの共同事業として開催する。また、作成した学習プログラムがすべての市民センターにおいて取り組めるようモデル事業として位置づけ、市民センター活動を支援する。

- (ア) 市民センター職員（ブロック単位）とみと好文カレッジ職員で企画した学習プログラム講座の開催
- (イ) 市民センター職員（単独）とみと好文カレッジ職員で企画した学習プログラム講座の開催

ウ 市民ニーズに対応した学習機会の提供

市民の学習ニーズの把握に努め、「個人の要望」や「社会の要請」に応じた学習をバランス良く提供できるよう市民センターの支援を行う。

- (ア) 市民ニーズを捉えた学習機会の提供
- (イ) 市民センター事業の現状と課題の調査

エ 事業評価の推進

講座や事業に参加した市民が日常生活の中で、学習の成果をどのように生かしているのか、また、地域の中で、どれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求られている。そのため、市民センターにおいては、実施した講座や事業の自己評価を行うとともに、運営審議会等による自己評価に基づいた第三者評価を行い、より効果的な事業運営を進められるよう事業評価を推進する。

また、みと好文カレッジ等による事業評価制度の手法について検討を進める。

- (ア) 市民センターによる自己評価の実施
- (イ) 市民センター運営審議会委員による第三者評価の実施
- (ウ) みと好文カレッジ等による事業評価制度の手法の検討

(2) 全市的な生涯学習の推進

ア みと弘道館大学の開催

急激な社会の変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要がある課題、いわゆる現代的課題の解決に向けた学習講座を市民に提供するとともに、学んだ成果を生活の充実や向上に生かされるよう内容の充実を図る。

また、時代にあった講座や「水戸市生涯学習サポーター」との協働による先進的な学習プログラムを市民に提供する。

イ 子育て応援塾の開催

家庭の教育力の向上を図るため、子育てに関する講座や学習機会を提供する「子育て応援塾」を開催する。

- (ア) 親業訓練入門講座
- (イ) 家庭教育出前講座

ウ 生涯学習サポーターチャレンジ講座「さきがけ塾」の開催

生涯学習活動をとおり、市民と行政とのまちづくりに携わる人を育成するために「さきがけ塾」を開催する。講座では、市民生活を豊かにする学習プログラムを考え、実施に向けた方法を探り、市民目線の講座の企画・実施に参画する人材（水戸市生涯学習サポーター）を育成する。

エ 「水戸市生涯学習サポーター」活動の推進

「さきがけ塾」修了生が登録する「水戸市生涯学習サポーター」による市民と行政との協働企画講座を開催し、安心安全なまちづくりを推進する。

オ パイロット事業の開発・研究

現代社会の課題や人づくりをテーマとしたもの、専門性の高い講座など、先進的な講座を開発・研究し、開発した講座を各市民センター等の社会教育施設や地域団体でも実施できるよう支援する。

カ ほっとひといき夢らんだの開催

家庭教育支援事業の一環として、1歳6ヶ月から4歳未満までの未就園児とその保護者を対象に、子ども同士が遊んだり、子育て支援サークルのメンバーと情報交換を行う場を提供するとともに、家庭教育に関する講座を開催することによって、育児に対する悩みやストレスを解消できるよう子育て支援を推進する。

キ 「あなたも師・達人制度」の活用促進

「あなたも師・達人制度」の登録指導者の募集や活用を広報「みと」やホームページ、情報誌などの各種広報媒体により周知を図るとともに、市民センター等の社会教育施設やPTA、ボランティア団体、NPO等が主催する講座や研修会の講師として積極的に紹介し、登録指導者の有効活用を促進する。あわせて、活用実績の調査を進める。

ク 育児ボランティア制度の利用促進

子育て中の保護者が生涯学習活動に参加できるよう、講座開催中に別室で子どもを預かる「育児ボランティア制度」の利用促進と登録ボランティアの拡充を図るため、市民センター等の社会教育施設や社会教育関係団体に積極的に紹介し、制度の利用を促進する。

ケ 学習情報の提供

生涯学習活動を推進するために、みと好文カレッジの事業等を掲載した生涯学習情報誌の発行や新しい情報をホームページへ掲載していくなど、本市の生涯学習活動を積極的にPRする。

コ 学習相談事業の充実

市民やボランティア団体等からの生涯学習相談に対して、相談内容や相談分野に応じて適切で役立つ助言ができるよう、各種生涯学習情報の収集と整理を行う。

サ 国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進

国や県・他市町村との連携を図り、相互の生涯学習に関する情報を共有するとともに、企業・NPO等民間非営利団体・教育機関と連携し、それぞれが持つ人的・物的資源の活用を図る。

シ 水戸市生涯学習推進基本計画（第4次）に基づく施策の推進

生涯学習社会の実現を目指し、水戸市生涯学習推進基本計画（第4次）に基づく施策を推進する。

ス 水戸市訪問型家庭教育支援事業の推進

地域人材を活用した家庭教育支援員を派遣し、家庭でのしつけなどに悩みを持つ保護者へ個別訪問等を推進する。

(2) 平成 31 年度（令和元年度）みと好文カレッジ事業実施計画について

1 市民センターへの支援・指導

(1) 東湖塾

市民センター職員に生涯学習の基礎となる社会教育の知識を深める研修や専門的・実践的な知識、技術を身につけ、職員の力量を高めるための研修会等を開催する。

さらに、現代的課題解決のための学習プログラムの研究・開発を行うとともに、多様化、高度化する市民のニーズに応え、時代にあった新しい講座を発掘し、先進的な市民センター講座として提案する。

研修方法は、一堂に会する「集合研修」と各市民センターへ出向く「訪問研修」を取り入れる。

ア 新任職員研修

市民センターに人事異動により新たに着任した者や新規採用者を対象に、市民センター職員として事務事業を遂行するための基本的知識を身につける。

(ア) 集合研修

- 対象者 平成 31 年度新任市民センター所長及び新任嘱託員 23 名
- 参加者 総数 19 名
- 日 時 4 月 16 日（火） 9 時 30 分～15 時
- 会 場 本庁舎 3 階会議室
- 内 容

内 容	説明者
市民センターについて	市民生活課副参事
生涯学習の推進について	みと好文カレッジ所長
地域防災について	防災・危機管理課危機管理室防災係長
電送窓口関係について	市民課窓口第 1 係長

(イ) 訪問研修

- 対象者 ①平成 31 年度新任所長及び新規採用嘱託員 18 名
②社会教育事業担当嘱託員 22 名
- 日 程 別添資料「平成 31 年度東湖塾訪問研修実施状況」を参照
- 内 容 ①市民センターの運営について
②生涯学習の推進について

※上記計画のほか、市民センターからの要請（疑問や問題軽減）を受け、実施する。

イ 全体研修

市民センター職員として、生涯学習の中の社会教育事業を推進していくための基礎知識の習得や事業の企画立案の進め方など、職員の支援にあたる。

(ア) 集合研修「市民センター所長研修会」

- 対象者 市民センター所長
- 日 時 検討中
- 会 場 本庁舎 3 階会議室
- 内 容 検討中

(イ) ブロック研修「意見交流会」

- 対象者 ①東部ブロックの嘱託員
②常澄ブロックの嘱託員
- 日時、会場 ①東部ブロック 8月21日(水)午後2時～, 上大野市民センター
②常澄ブロック 7月17日(水)午後2時～, 稲荷第二市民センター
- 内 容 市民センターにおける生涯学習等を進める上で疑問に感じている事について、同じ業務に携わる嘱託員同士が一堂に会し意見交換を行うことにより、ブロック内職員の交流を深め事務の効率化を図る一助とする。

ウ 学習プログラム作成研修

社会教育事業に従事する職員として、高度で多様化した住民のニーズに対応するため、専門的・実践的な知識や技術を身につけ、地域住民に様々な学習の機会を提供する必要がある。

そこで、市民センターの職員を対象に、現代的課題や地域課題の見出し方や課題解決のための学習プログラム作成に関する知識や技術を習得することを目的とする。

- 対象者 西部ブロックの嘱託員。
なお、研修を希望する個別の市民センターにも対応する。
- 日 程 令和元年5月～7月(4回程度実施予定)
- 会 場 上中妻市民センター
- 内 容 同じブロックの職員が共同で地域課題の整理や学習プログラムのテーマを選定し、ブロック内の地域住民を対象とした講座を企画・実施する。

(2) 好文塾

東湖塾で研究・開発された現代的課題を取り扱った学習プログラムの作成企画講座が、市民センター事業として根付くよう「好文塾」と名づけ、市民センターとみと好文カレッジとの共同事業として開催する。また、作成した学習プログラムが全ての市民センターにおいて取り組めるようモデル事業として位置づけ、市民センター活動を支援する。

西部ブロック好文塾

- 対象者 西部ブロック内住民
- 会 場 山根市民センター
- 内 容 西部ブロックの職員が学習プログラム作成研修で企画した講座「MOTTA IN A Iを学ぼう～私たちの生活スタイルが未来の暮らしを変えていく～」を実施する。

※日時については、現在調整中

2 全市的な生涯学習の推進

(1) みと弘道館大学の開催

急激な社会の変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要がある課題、いわゆる現代的課題解決に向けた学習講座を市民に提供するとともに、学んだ成果を生活の充実や向上に活かされるよう内容の充実を図る。

また、時代にあった講座や「水戸市生涯学習サポーター」との協働による学習プログラムを市民に提供する。

ア 茨城しぐさ

「相互扶助」や「共生」の精神を学び、「お互いが仲良く、気持ちよく生活する」ための方策を考えることにより、規範意識の向上と良好な人間関係を築く一助とすることを目的とする。

- 対象者 小学4年生から中学3年生及びその保護者(学校単位で実施)。
※現時点での実施校4校(城東・上大野・渡里・柳河小学校)、継続募集中。

- 日 程 令和2年2月28日（金）まで
- 講 師 NPO法人 ひと・まちねっとわーく
- 内 容 別添資料「みと弘道館大学 茨城しぐさ 募集案内」を参照

イ ゼロからはじめるシニアパソコン教室（水戸女子高等学校共催事業）

市内のシニア世代を対象に、インターネットの使い方や簡単な文書作成などを体験していただき、ITをより身近に感じていただく契機とするとともに、教員の指導のもと、生徒がこれまでに習得した知識やスキルを生かして参加者に指導を行うことにより、地域住民への社会貢献へとつなげる。

- 対象者 概ね50歳以上の水戸市在住のパソコン初心者
- 定 員 20名（定員を超えた場合は抽選、結果は申込者全員に通知）
- 参加費 1,000円（テキスト代として）
- 日 程 8月28日（水）・29日（木）10時～12時、13時～15時
- 会 場 水戸女子高等学校
- 講 師 水戸女子高等学校商業科教員
- アシスタント 水戸女子高等学校商業科生徒
- 内 容

	時 間	内 容
1日目	10時～12時	触ってみよう！キーボード
	13時～15時	インターネットで検索してみよう！
2日目	10時～12時	パソコンでメッセージカードを作ってみよう！
	13時～15時	メッセージカードに写真・イラストを取り込んでみよう！

ウ 水戸市生涯学習サポーター活動の推進

人材育成講座「さきがけ塾」の修了生が水戸市生涯学習サポーターに登録し、みと好文カレッジとの協働企画講座を市民に提供する。

なお、現在の登録者数は、第1期生から第4期生までで47名。

生涯学習サポーター企画講座

	テーマ	日程等
1	つくば最新研究情報 Part 5	10月～12月予定
2	幸齢期	10月～12月予定
3	日本遺産	11月～12月予定
4	親子宿泊「星空観察」	2月15日、16日
5	食と健康	1月～3月予定
6	出前講座 開放学級のお友達とドーンとやってみよう －夏季休業中の放課後子ども教室（開放学級）の支援事業－	8月1日～8月21日 3小学校各2講座
7	100歳時代（案）	10月～12月予定

(2) 子育て応援塾の開催

家庭の教育力の向上を図るため、子育てに関する講座や学習機会を提供する「子育て応援塾」を開催する。

ア 親業訓練入門講座

グループディスカッションやロールプレイなどの体験学習を通して、親としての役割や子どもとのコミュニケーションの取り方について考え見つめ直す場面を多く取り入れ、家庭の教育力の向上を目指す。

- 対象者 妊娠期の母親，乳幼児期から高校生までの子を持つ保護者，その他保育に関わる業務を行う方
- 定員 20名（託児付き）
- 日時 10月6日（日）9時30分～16時30分
- 会場 水戸市福祉ボランティア会館
- 講師 親業訓練シニアインストラクター・コミュニケーションリーダー1級
中島 由佳子
- 内容 (1) 親には役割があるの？
(2) 子どもと接するのが難しい？
(3) 子どもの気持ちがわかる？

イ 家庭教育出前講座

保護者が家庭教育の重要性を改めて認識し，子どもたちが家族の触れ合いを通じて，「生きる力」を育めるよう，講師が幼稚園等に出向き，家庭教育に関する講座を開催する。

- 対象者 私立幼稚園，認定こども園の保護者，教員等（園単位で募集）。
※現時点での申込園3園（大塚ひのまる2回，赤塚，渡里）継続募集中。
- 会場 各私立幼稚園，認定こども園
- 講師 ① 朗読家 見澤 淑恵
② 心理カウンセラー 中島 由佳子
- 内容 ① 「絵本で広げる夢のコミュニケーション」
朗読・読み聴かせの専門家である講師から効果的な読み聴かせの方法や絵本がもつ間接体験の意義等を学ぶ。
② 「心つながるコミュニケーション」
グループディスカッションやロールプレイなどの体験学習を通して，親としての役割や子どもとのコミュニケーションについて考え，見つめなおす場面を多く取り入れたワークショップ形式の講座
- 日程 令和2年2月28日（金）まで

(3) 「さきがけ塾」の開催

生涯学習活動をとおし，市民と行政とのまちづくりに携わる人のために「さきがけ塾」を開催する。ここでは，市民生活を豊かにする学習プログラムを考え，実施に向けた方法を探り，行政が主催する講座の企画・実施に参画する人材の確保を図る。

- 対象者 生涯学習や学習プログラムの作成に関心のある市民
- 期間 4月～翌年6月（1年3カ月）
- 回数 理論編22回（月1～2回，水曜日18時30分～20時30分），
実習編4回，実践編4回程度
- コース 「参画と協働のひとづくり・まちづくりコース」
- 受講生 12名
- 会場 水戸市五軒市民センター201号室ほか
- 内容

理論編

回	開催日	内容	講師
1	4月24日	開講式，参画と協働のひとづくり・まちづくり①	茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川幸介
2	5月8日	ヘルマンハーブ演奏と アイスブレイク体験	ヘルマンハーブ演奏者 種村厚子 県立歴史館首席研究員 江幡 覚

3	5月22日	魁のまち・水戸を目指して	水戸市政策企画課
4	6月12日	コミュニケーション能力とその実践	元県学校教育相談研究会 会長 内田 裕
5	6月26日	ひとづくりとボランティア活動	茨城キリスト教大学 兼任講師 池田幸也
6	7月10日	水戸の歴史を学ぶ	水戸市教育委員会歴史文化財課
7	7月24日	水戸の魅力を発信したい	水戸市魅力発信課
8	8月7日	参画と協働のひとづくり・まちづくり②	茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川幸介
9	8月28日	まちづくりとボランティア活動	茨城キリスト教大学 兼任講師 池田幸也
10	9月11日	学習プログラムづくり実践	ひと・まちねっとわーく 理事 高瀬利博
11	9月25日	チラシづくりに挑戦	生涯学習サポーター 見澤淑恵
12	10月9日	学習プログラムづくり① ブレインストーミング	ひと・まちねっとわーく 理事 高瀬利博 生涯学習サポーター 綿引 均, 小平文和
13	10月23日	学習プログラムづくり②	
14	11月13日	〃 ③	
15	11月27日	〃 ④	
16	12月4日	講座の受講者側に立って学ぶ 『紫芳の字手紙講習会』	紫芳の字手紙認定講師 寺門 忍
17	12月18日	コミュニケーション「しゃべり場」	
18	1月8日	〃 ⑤	ひと・まちねっとわーく 理事 高瀬利博 生涯学習サポーター 綿引 均, 小平文和
19	1月22日	〃 ⑥	
20	2月12日	ためして合点！プレゼンテーション	ひと・まちねっとわーく 理事 高瀬利博
21	2月26日	アンケートづくりの実践	生涯学習サポーター 小平文和
22	3月11日	修了式及び記念講演	講師未定

【参考】 さきがけ塾の開始（平成22年10月）

- 第1期 子育て支援コース・地域支援コース
- 第2期 粋な幸齢期コース・暮らしと環境コース
- 第3期 社会の宝（子ども）育成コース・縁がつなぐコミュニティコース
- 第4期 参画と協働のひとづくり・まちづくり
- 第5期 参画と協働のひとづくり・まちづくり

(4) 「さきがけ塾」塾生との協働企画講座

市民と行政との協働による学習講座の企画・実施に携わる「水戸市生涯学習サポーター」を目指し、「さきがけ塾」第五期生のテーマ『参画と協働のひとづくり・まちづくり』を学んだ受講生が、学習の成果として作成した講座を市民に提供する。

※令和2年4・5・6月に開催予定

(5) 「ほっとひといき夢らんど」の開催

家庭教育支援事業の一環として、1歳6ヶ月から4歳未満までの未就園児と保護者を対象に、就園前に集団の中で子ども同士が遊んだり、子育て支援サークルのメンバーと意見交換を行う場を提供するとともに、家庭教育に関する講座を開催することによって、育児に対する悩みやストレスを解消できるよう子育て支援を推進する。

- 対象者 Aコース 水戸市在住の1歳6か月から2歳6か月までの未就園児と保護者
Bコース 水戸市在住の2歳6か月から4歳までの未就園児と保護者
- 日 時 Aコース 6月～翌年3月の毎月第1木曜日 午前10時～11時30分(全10回)
Bコース 5月～翌年2月の毎月第3木曜日 午前10時～11時30分(全10回)
- 会 場 水戸市福祉ボランティア会館
- 受講者 Aコース 親子25組
Bコース 親子25組
- 参加費 1組1,000円(材料費として)
- 内 容

Aコース		Bコース	
開催日	内容等	開催日	内容等
6月6日	ミュージック・ケア① 音楽療法士 松本鈴子, 井澤満代 夢らんど専属ボランティア	5月16日	ミュージック・ケア 音楽療法士 松本鈴子, 井澤満代 夢らんど専属ボランティア
7月4日	遊んで学ぼう①(七夕) 夢らんど専属ボランティア ピアノボランティア 井上文代	6月20日	親子体操(運動会) 親子体操講師 青木千鶴子 夢らんど専属ボランティア
8月1日	遊んで学ぼう②(小麦粘土) 夢らんど専属ボランティア ピアノボランティア 井上文代	7月18日	親子劇遊び①(大きなかぶ・はらぺこあおむし) 親子体操講師 青木千鶴子 ピアノボランティア 井上文代 夢らんど専属ボランティア
9月5日	親子ヨガ キッズヨガインストラクター 子安美穂 ベビーマッサージ協会 渡邊江津子 夢らんど専属ボランティア	8月15日	遊んで学ぼう①(魚つり) 夢らんど専属ボランティア ピアノボランティア 井上文代
10月3日	親子料理教室①(M'sキッチン) 森永乳業(株) 夢らんど専属ボランティア	9月18日	親子料理教室①(マサラカレー) (有)マサラプラスワン 代表取締役 綿引 均 夢らんど専属ボランティア
11月7日	親子体操(運動会) 親子体操講師 青木千鶴子 夢らんど専属ボランティア	10月17日	遊んで学ぼう②(ハロウィン) 夢らんど専属ボランティア ピアノボランティア 井上文代 Wa'mくーる代表 佐藤友美乃
12月5日	遊んで学ぼう③(クリスマス会) 夢らんど専属ボランティア ピアノボランティア 井上文代 Wa'mくーる代表 佐藤友美乃	11月21日	親子料理教室②(パトウラ) (有)マサラプラスワン 代表取締役 綿引 均 夢らんど専属ボランティア
1月9日 [第2木曜日]	親子料理教室②(花巻寿司・お花) 料理研究家 野口和子, 水沼清子	12月19日	親子劇遊び②(三匹のこぶた・てぶくろ) 親子体操講師 青木千鶴子

	夢らんど専属ボランティア		ピアノボランティア 井上文代 夢らんど専属ボランティア
2月6日	ミュージック・ケア② 音楽療法士 松本鈴子, 井澤満代 夢らんど専属ボランティア	1月16日	親子料理教室③ (花巻寿司・タコさん) 料理研究家 野口和子, 水沼清子 夢らんど専属ボランティア
3月5日	遊んで学ぼう④ (お別れ会) 夢らんど専属ボランティア ピアノボランティア 井上文代 Wa' m くる代表 佐藤友美乃	2月20日	遊んで学ぼう③ (お別れ会) 夢らんど専属ボランティア ピアノボランティア 井上文代 Wa' m くる代表 佐藤友美乃

(6) 育児ボランティア「えくぼ会」研修会

育児ボランティア中、事故や災害があった時のために応急手当の具体的な説明、実技（自動体外除細動器（AED））を通し、とっさの時に対応できる救命方法を学ぶ。

また、託児中に活用できるような技術の習得や、会員同士の親睦を図ることにより、託児中のコミュニケーションを円滑にできるようにする。

- 対象者 育児ボランティア「えくぼ会」会員
- 日時 ① 4月24日（水）9時～11時30分
② 検討中
- 会場 ①, ② 水戸市福祉ボランティア会館
- 講師 ① 水戸地区救急普及協会
② 検討中
- 内容 ① 普通救命講習Ⅲ
② 検討中

(7) 国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進

国や県・他市町村との連携を図り、相互の生涯学習に関する情報を共有するとともに、企業・NPO等民間非営利団体・教育機関と連携し、それぞれが持つ人的・物的資源の活用を図る。

ア NPO法人 ひと・まちねっとわーくとの連携事業「茨城しぐさ」

イ 水戸女子高等学校との連携事業「みと弘道館大学 ゼロからはじめるシニアパソコン教室」

※ア、イとも「2 全市的な生涯学習の推進 (1) みと弘道館大学の開催」参照

(8) 水戸市訪問型家庭教育支援事業

核家族化や少子化等による地域のつながりの希薄化などにより、家庭教育を支える環境は大きく変化するとともに、家庭をめぐる問題が複雑化しており、社会全体で家庭教育を支援する必要性が高まっている。特に、家庭でのしつけや子どもへの関わり方などについて、悩みを抱える保護者などに対して、必要な情報提供や相談を行い、家庭の教育力を向上させるための取組を推進する。

ア 水戸市訪問型家庭教育支援員による家庭訪問等の実施

子育て支援団体関係者やソーシャルワーカー、元教員などの家庭教育支援員が、2人一組で家庭教育に関する情報提供や相談を行う。

本年度は、市立幼稚園及び保育所の保護者を中心に実施する。

イ 水戸市訪問型家庭教育支援推進協議会の開催

子育て支援団体関係者やソーシャルワーカー、元教員などの委員で組織し、事業の推進方針や家庭教育支援員の活動支援に関することなどを協議する。年3回開催予定。

仮置き

Aコース		Bコース	
開催日	内容等	開催日	内容等
6月6日	ミュージック・ケア① 音楽療法士 松本鈴子, 井澤満代	5月16日	ミュージック・ケア 音楽療法士 松本鈴子, 井澤満代
7月4日	遊んで学ぼう① ピアノボランティア 井上文代	6月20日	親子体操 特別支援教育支援員親子体操講師 青木 千鶴子
8月1日	遊んで学ぼう② ピアノボランティア 井上文代 Wa'mくーる代表 佐藤友美乃 水戸市サプリーダーズ会3~5名	7月18日	親子劇遊び① 特別支援教育支援員親子体操講師 青木 千鶴子 ピアノボランティア 井上文代
9月5日	親子ヨガ キッズヨガインストラクター 子安美穂 ベビーマッサージ協会 渡邊江津子	8月15日	遊んで学ぼう① ピアノボランティア 井上文代 Wa'mくーる代表 佐藤友美乃 水戸市サプリーダーズ会3~5名
10月3日	親子料理教室① 森永乳業(株)	9月18日	親子料理教室① (有)マサラプラスワン 代表取締役 綿引 均
11月7日	親子体操 特別支援教育支援員親子体操講師 青木千鶴子	10月17日	遊んで学ぼう② ピアノボランティア 井上文代 Wa'mくーる代表 佐藤友美乃
12月5日	遊んで学ぼう③ ピアノボランティア 井上文代 Wa'mくーる代表 佐藤友美乃	11月21日	親子料理教室② (有)マサラプラスワン 代表取締役 綿引 均
1月9日 [第2木曜日]	親子料理教室② 料理研究家 野口和子, 水沼清子	12月19日	親子劇遊び② 特別支援教育支援員親子体操講師 青木千鶴子 ピアノボランティア 井上文代
2月6日	ミュージック・ケア② 音楽療法士 松本鈴子, 井澤満代	1月16日	親子料理教室③ 料理研究家 野口和子, 水沼清子
3月5日	遊んで学ぼう④ ピアノボランティア 井上文代 Wa'mくーる代表 佐藤友美乃	2月20日	遊んで学ぼう③ ピアノボランティア 井上文代 Wa'mくーる代表 佐藤友美乃

(3) 平成31年度(令和元年度)水戸市市民センター運営方針及び重点目標

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられるまちを形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努め、さらには、東日本大震災での経験を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプラン実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。

イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。

ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。

エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえつつ狭あい駐車場の解消に努める。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、「個人の要望」する学習による生きがいを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた、現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

また、みと好文カレッジにおける各種生涯学習事業を総称した『みと弘道館大学』を活用し、生涯学習として市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、各市民センターの一般教養講座・教室・クラブ等の学習機会の提供に努める。

ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくために、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。

また、事業実践集を活用し、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

ウ 家庭教育学級（ふれあい学級）等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があるので、家庭教育について考える機会を提供するための事業を開催する。

さらに、これまでのふれあい学級に加え、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自立的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

また、学習教材として茨城県教育委員会が作成発行している「家庭教育ブック」等を活用し、家庭の教育力向上を図る。

(2) 学習の成果を活かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに活かせるよう支援し、地域内の人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりにつながっていくよう環境づくりを進める。

ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

イ 学習活動の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築

に努める。

ウ 学習の成果を地域活動に活かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に活かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につながるよう人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で、学習の成果をどのように活かし、また、地域の中で、どれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(3) 学校、家庭、地域の連携の強化

学校、家庭、地域が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組めるシステムを構築し、地域社会全体の教育力の向上を図る。

市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能を十分発揮する。

ア 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

学校、家庭、地域が相互に連携を図りながら、様々な形で異年齢集団との交流や大人と接する事業など、子どもたちが直接体験する場を提供し、社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

イ 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの成長を温かく見守りながら、家庭教育を社会全体で支える仕組みづくりに努める。